

富士精密工業 株式会社

バリ・反り・歪みのない
精密部品を低価格で提供海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応

主力製品のオートバイ用ラジエーターコアガード

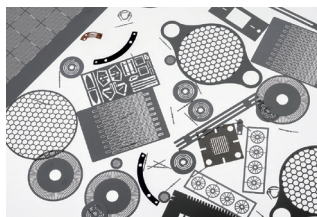
業務内容
独自技術を生かし自社
ブランド製品を開発

フォトエッチング加工やエレクトロフォーミング加工により、半導体関連部品や印刷関連部品など多様な精密部品を製造。機械加工では困難な形状でもバリや反り、歪みのない高精度な加工を実現している。試作から量産まで多様な顧客ニーズに低価格で対応する一方、自社ブランド製品の開発にも余念がない。得意のフォトエッチング技術を活用して製造するオートバイ用のラジエーターコアガードは現在の主力製品であり、売上全体の約80%を占めている。国内で同様の製品を手がける企業はほとんどなく、オンリーワン製品ともいえる。

強み
経験とノウハウ生かし
多様なニーズに細かく対応

自社で製作したエッチング装置を用いて効率的かつ高精度に加工を行う一方、あえて手作業による加工体制も維持している。機械作業だけでは加工が難しく、精度や納期の面で問題が発生することも少なくない。機械作業と手作業を並行することにより顧客ニーズにきめ細かく対応している。

フォトエッチング加工は高価な金型製作の必要がないため、低価格で製品を提供できるのも強みとなる。この生産体制により小ロット・短納期などの厳しい要求



計測器関連など多様な加工部品

にも対応。創業から培われたノウハウと経験が同社のものづくりの礎となっている。

独自開発
趣味が高じた
オートバイ部品事業

現在の主力製品であるラジエーターコアガード開発のきっかけは、趣味のバイクレース。サーキットを過酷な状況で走るオートバイのラジエーターには、前輪のタイヤが砂利などが勢いよくぶつかりダメージが大きい。ラジエーター保護を目的として開発がスタートした。「試行錯誤したが、自分がレースを経験しているからこそ課題や問題、またその解決策を見いだすことができた」と竹見升吾社長は強調する。ラジエーターコアガードは徐々にバイク部品メーカーに受け入れられ、売り上げが拡大。現在では半導体関連の売り上げを上回る第2の柱にまで成長した。

今後の展望
生産体制を強化し新たな
ブランド製品の開発を目指す

最近では生産体制の整備・強化を図り、設備投資を積極化している。内製化によるさらなるコストダウン、一貫生産による品質管理を徹底的に進め、質の高い製品を効率的に供給できる体制を構築していく方針。他方で、外注先などとの連携を強め、新たな自社製品の開発にも力を入れる。また、アジアをはじめとする海外からの問い合わせも増えており、今後はラジエーターコアガードの海外展開も視野に入れ、外部とのチャンネルを拡大していきたい考えだ。

COMPANY PROFILE

富士精密工業株式会社

大阪
27当社の
歴史

設立以来、フォトエッチング加工を手がけてきました。当初は半導体関連で大手家電メーカーの下請け業務が事業の80%を占めていました。時代の推移とともに半導体関連からオートバイ関連へと事業を拡大。現在は、既存の技術を生かした自社ブランド製品のオートバイ用ラジエーターコアガードを開発し、展開しています。

あらゆる金属に高精度なフォトエッチング加工を施し、
試作から量産まで多様なニーズに低価格で応えます。

代表取締役 竹見 升吾さん



■主な事業内容

フォトエッチング・エレクトロフォーミング加工

■主な取引先（納入先）

大学等研究機関、
半導体関連メーカー、
オートバイ関連

住所／〒577-0823
東大阪市金岡
3-22-32

TEL／06-6721-1509
FAX／06-6727-6082
創業／昭和30年12月
設立／昭和49年12月
資本金／1,000万円
従業員／9名

<http://www.web-fuji.com>